

TOSHIN STUDY New53

東神油槽船株式会社 平成25年8月23日 B.V安全管理室

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-5-14 入江ビル7階

TEL03-3270-3033 ・ FAX03-3241-2812

【服装の乱れは心の乱れ】

昔から良く聞く言葉ですが、今回はこの^{ことわざ}諺にまつわるお話を最初にした
と思います。

みなさんは、オペレーターって聞いたことがありますか？海運業界では運航手配をする組織を呼称しますが、世間一般ではお客様からの電話によるトラブルに関する苦情対応や通信販売等業務を行っている人や、代行している企業を示すことがあります。（他にも建設業界では、重機を操縦する方のことを呼称するのに用いたりしているようです）



オペレーター業は電話で対応するわけですから、相手に自分の姿は見えません。実際に求人誌などを見る（最近ときどき見るのですが、オイシイ仕事は少ないものです）とラフな服装により勤務が可能であることを全面に押し出して社員を募集している企業も少なくありません。

実は最近（ジョギング中のラジオで）こんな話を聞きました。とある企業で、あえて社員に制服を着用させたところ、対応が素晴らしいと評判になり、業績を伸ばして業界トップになったそうです。どこの企業でも応対マニュアルを作って対応しているはずですが、マニュアルに書ききれない部分で顧客等を感じる何かで差が出たのだと思います。私はマニュアルだけでは説明しきれないものがあるのが、やはり日本人の特徴、また日本文化の特徴だと思っています。制服を着ることが自分の中で気持ちを切り替えて仕事と向き合うきっかけとなっているのかもしれません。

（今、この記事を書いていて、ふと頭に浮かんだのが、電話しながら頭を下げて謝っている風景でした。あれは誠意を態度で表してしまう日本人独特のような気がします。）

みなさんはいかがですか？ご存じのとおりタンカー船で使用する作業服には、普通の業種では考えられない制限がかかっています。でもそのひとつひとつが、

理由があつて定められているわけです。そして、その制限の積み重ねが、安全荷役・安全運航を維持するために必要なルールです。つまり基本のひとつひとつを守ることが、結果として事故防止につながります。自分だけが例外ではありません。胸ポケットは縫い付けたままにしてありますか？だらしなく作業服を着ているようなことはありませんか？今一度、自分を振り返ってください。

さて、服装について今回は話題にしましたので、そこから派生する話をひとつします。みなさんは、スニーカーソックスをご存知でしょうか？くるぶしソックス等いろいろ呼ばれているようですが、くるぶしまでしかない靴下のことです。最近、流行なので船員さんでもときどき履いている方もみかけますが、みなさんはどう思いますか？



個人的な意見としては、スニーカーソックスを履いての仕事については、できれば避けてもらいたいと思っています。理由は、肌が露出する可能性があるからです。甲板上の突起物と接触したり、入出港作業で係留索等と接触した場合に、脛や^{すね}踝^{くるぶし}等を負傷する危険があるためです。作業服のズボンの裾を靴下の中に入れておくとまでは言いませんが、長さのある普通の靴下を履いて業務をするようにお願いします。

今日の格言

「おしゃれに気を遣わず、安全に気を遣おう」

編集後記

8月なのでお盆ネタをひとつ。みなさん、神社やご自宅の神棚等で写真のような紙を見たことはありませんか？これは紙垂(しで)と呼ばれるもので、神聖な場所と俗世を区切るために飾られるものです。祈祷する場合にも、決壊に使われていますよね。正式なものは、生紙(きがみ：和紙の一種)をはさみではなく小刀を使って切れ目を入れて作成します。一番下の部分だけ幅を広めにしたり、折るときには少し斜めに折るとか、細かな約束事があります。今度見かけたら注意深く観察してみてください。



(完)